

大阪・関西万博 『テーマウィーク』 について

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

2023年1月18日



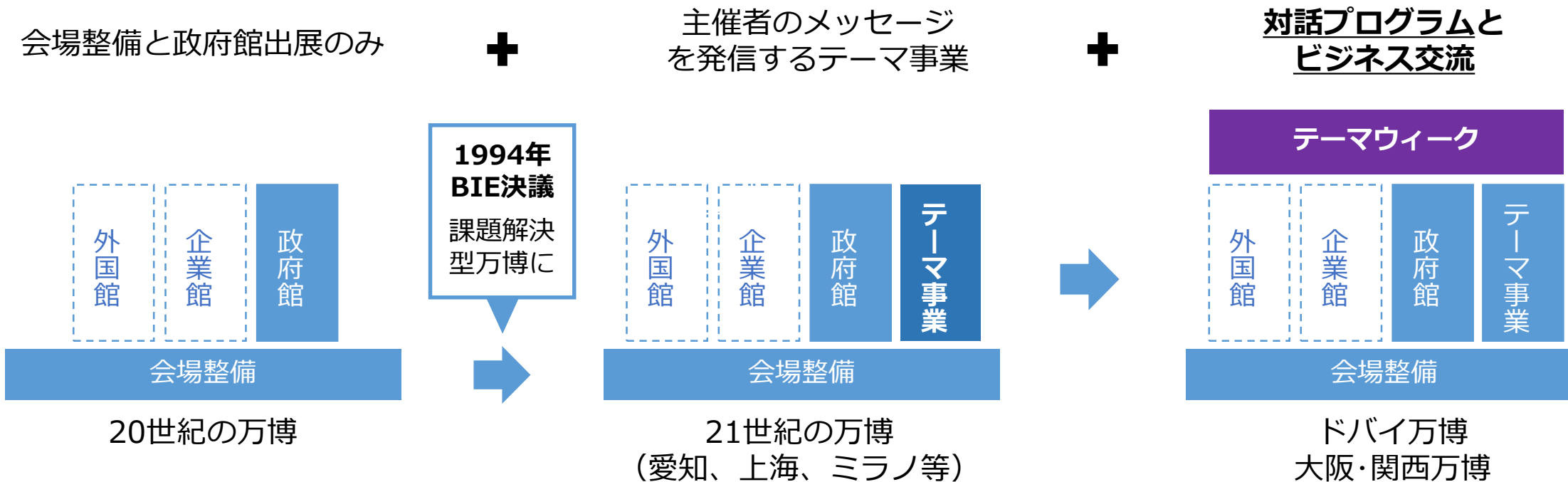
OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025



1. 『テーマウィーク』とは

- 世界が半年間の長きにわたり同じ場所に集う万博の特性を活かし、地球規模の課題の解決に向けて英知を持ち寄り、対話による解決策を探る取り組み
- 1週間ごとに地球規模の課題をテーマに設定し、主催者だけでなく、公式参加国、政府・自治体、共創事業参加者、出展企業等の万博参加者、及び全国の自治体や産業界等が集い、解決策を話し合う「対話プログラム」と、行動のための「ビジネス交流」などを実施

【万博における主催者の役割の変遷】



2. ドバイ万博の『テーマウィーク』

テーマ

気候変動と生物多様性

宇宙

都市と農村の開発

寛容と包容力

知と学習

旅行と交流

SDGs

健康とウェルネス

食と農業と暮らし

水

対話プログラム（主催者）



WORLD MAJLIS (ワールド・マジリス)

ドバイ万博公社が主体となり、グローバルな対話と新たな展望の創出を目的に開幕前から継続的に実施

対話プログラム（参加者）



ウィメンズパビリオンでの取り組み

Women in Islam / Arabia Charting the course of Health and wellness in History
(Friday, January 28th 04:00 PM - 05:30 PM)

ビジネス交流



ビジネスフォーラム

Health & Wellness Business Forum
(Tuesday, February 1st 01:50 PM - 08:30 PM)

3. 『テーマウィーク』 3つの意義

- ① 本格的な対話プログラムとビジネス交流によって、課題解決を目指す万博としての価値ある可能性を切り拓いたドバイ万博の継承と発展
- ② SDGsの達成と未来社会の実現に向けた共創の機会をつくると国際社会に宣言した、大阪・関西万博の約束を示す機会
- ③ 地球的課題の解決に向けて世界と直接対話する機会が得られることで、国や企業の万博参加の意義が向上

4. 『テーマウィーク』 目的

世界と共に創る、いのち輝く未来社会

テーマウィークは、世界が半年間の長きに渡り同じ場に来る万博ならではの特性を活かし、地球規模の課題の解決に向けて英知を持ち寄り、対話による解決策を探り、いのち輝く未来社会を世界と共に創造することを目的として行う。



5. 『テーマウィーク』 5つの実施方針

テーマは地球的課題

SDGs達成への貢献とその先の未来のBeyond SDGsを見据えて設定。多岐にわたる分野を包摂的な概念で構成

テーマは原則約1週間を単位とし、カレンダーを設定

日程は関連する国際デーや国際的な会議やイベントなども踏まえて設定

実施主体別にトラックを分け、独自にプログラムを実施

公式参加者、日本政府・自治体、博覧会協会、企業参加者等の万博の参加者それぞれが主体的に独自プログラムを実施

プログラムは会場内及び会場外でも実施

プログラムは万博会場内のみならず会場外の施設も活用

開幕前から閉幕後までインターネットで発信

会期前も含めプログラムはバーチャル会場からも発信し、閉幕後は動画等をアーカイブとして残す



6. テーマ設定の考え方

- テーマウィークの目的「世界と共に創る、いのち輝く未来社会」を実現するため、地球的規模の課題を幅広く対象とする。
- 大阪・関西万博の3つのサブテーマに基づいて複数の課題を内包するカテゴリーに分け、幅広い協議を重ねながら2023年春頃をめどに具体的なテーマを決定。

『いのちを救う (Saving Lives)』の観点

人と地球上の生命を脅かす課題

『いのちに力を与える (Empowering Lives)』の観点

誰もが幸福で豊かな生活を送るための課題

『いのちをつなぐ (Connecting Lives)』の観点

社会を豊かにするための課題

7. プログラム実施主体（トラック）と実施場所

	トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5
実施主体	公式参加者	日本国政府 自治体 等	博覧会協会 (アジェンダ2025) (テーマ事業)	TEAM EXPO 2025	万博参加企業
実施場所 (会場内)	公式パビリオン	日本政府館 大阪パビリオン メッセ 等	スタジオ (検討中) メッセ シグネチャーパビリオン	フューチャーライフ エクスペリエンス	民間パビリオン 未来社会ショーケース
(会場外)	全国規模での各種国際会議などの実施、誘致・連携				

8. アジェンダ2025（博覧会協会主催のテーマウィークプログラム）

大阪・関西万博から世界に向けてメッセージを発信するために、博覧会協会が主体となって、対話型プログラムや展示会をテーマごとに複数回行うシリーズプログラム

特徴①

様々なステークホルダーが横断的に参加

公式参加者や政府・自治体、TEAM EXPO、出展企業など、万博に参加する多彩な事業主体と全国各地の国際会議等と連携して行うステークホルダー横断型のプロジェクト

特徴②

多様性と自由な対話

対話型プログラムは、国籍・性別・世代の多様性に富んだ少人数の講演者が各テーマについて自由に語り合うプログラムを中心に構成

特徴③

リアル+オンラインで世界中から参加

プログラムは会場内のスタジオ（検討中）やメッセでリアルに参加できるとともに、オンラインを用いてインターネットからも参加可能

9. 『テーマウィーク』への協賛参加について

①全体協賛

～2023年1月18日募集開始～

『テーマウィーク』全体の広報と、「アジェンダ2025」の事業実施にご参加いただけます。

②プログラム協賛

～2023年春頃 募集開始～

「アジェンダ2025」の特定のプログラムにご参加いただけます。

トラック1
公式参加国

トラック2
政府・自治体等

トラック3
博覧会協会

トラック4
TEAM EXPO

トラック5
万博参加企業

プログラム

プログラム

プログラム

プログラム

プログラム

プログラム

プログラム

プログラム

プログラム

プログラム

プログラム

プログラム

プログラム

プログラム

プログラム

各事業主体
が実施

各事業主体
が実施

アジェンダ
2025

各事業主体
が実施

各事業主体
が実施

『テーマウィーク』全体広報

* ①全体協賛、②プログラム協賛ともに協賛額に応じた特典が付与されます。詳しくは博覧会協会までお問い合わせください。

10. 今後のスケジュール

23年1月18日

23年春頃

24年度

25年4月～10月

テーマウィーク
参加者説明
全体協賛募集

基本計画策定

テーマ決定

プログラム協賛募集

プログラム企画

プログラム編成

実施準備

テーマウィークの実施

『テーマウィーク』協賛に関するお問い合わせ先：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 企画局 企画部 出展課
Eメール：shutten-sanka@expo2025.or.jp